

# びっくり! エコ新聞

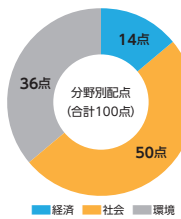
小学校のみんなは、かぞえとっしょにみてね



びっくり! エコ実行委員会  
MAIL: info@eco100.jp

## ■全国市区 サステナブル度・SDGs先進度調査について

| 全国市区の「SDGs」総合ランク |            |            |           |            |          |
|------------------|------------|------------|-----------|------------|----------|
| 総合順位             | 自治体名(都道府県) | 総合得点(100点) | 経済(順位)    | 社会(順位)     | 環境(順位)   |
| 1                | 京都市(京都府)   | 70.37      | 7.20(34位) | 34.07(7)   | 29.10(2) |
| 2位～10位           |            |            |           |            |          |
| 2                | 北九州市(福岡県)  | 70.13      | 6         | 相模原市(神奈川県) | 68.50    |
| 3                | 宇都宮市(栃木県)  | 68.82      | 8         | さいたま市(埼玉県) | 68.33    |
| 4                | 鹿野市(愛媛県)   | 68.57      | 9         | 札幌市(北海道)   | 68.23    |
| 5                | 岡山市(岡山県)   | 68.53      | 10        | 堺市(大阪府)    | 67.88    |
|                  |            |            |           | 名古屋市(愛知県)  | 67.83    |



この調査は、2018年10月～11月に実施されました。分野別にみると、「経済」は一人あたり農産物産出額・製造品出荷額など7指標(14点)、「社会」は障がい者雇用率・貧困対策を含む子ども・子育て支援の実施事業など36指標(50点)、「環境」は再生可能エネルギーの導入容量・食品ロスを減らす取組など31指標(36点)で調査しました。



SDGsの17の目標を達成するには、地球レベルや国レベルでの取組に加えて地域での取組が欠かせません。そこで、持続可能な発展のために環境・社会・経済の3つの側面、全国の自治体が具体的にどのような計画を立てて実践しているかを調査したのが「全国市区・サステナブル度・SDGs先進度調査」です。この調査は、持続可能なまちづくりの先進モデルを示すとともに、それぞれの地域の課題を見つけ、さらなる

## 京都市のSDGsに対する取組

京都市は「循環型まちづくり」の実現に向けて、ゴミの分別・リサイクル推進、食品ロス削減に向けた2R(リデュース・リユース)の推進、新築住宅の省エネ推進などのプロジェクトに取り組んでいます。また、自治体を取り組むべき課題や重要と考えられる74の指標を設け、インターネットで実施した調査に各自治体の公開データを加えて、それぞれの指標ごとに点数をつけるという方法で行われました。



## 京都市が1位に!

SDGs先進度調査で

日本経済新聞がSDGsの観点から全国815市区を対象に行った「全国市区・サステナブル度・SDGs先進度調査」(日経グローバル誌掲載)で、京都市は総合ランキングで全国トップとなりました。今号では、京都市のこれまでの取組と、評価のポイントを紹介いたします。

## 関西SDGsプラットフォームコメント

京都市の取組は関西発SDGsモデル



京都市は、燃料電池自動車を活用した体験型水素学習事業や、市内の企業や団体の皆さんへの貸出し等を実施し、水素エネルギーの普及拡大を図っています。

京都市の高い評価を受けたポイントは、環境分野の取組です。特に、市民ぐるみの省エネ推進により総エネルギー消費量をピーク時から約27%削減させたこと、こみの量をピーク時の2000年度の82万トンから2017年度には41万トンと17年間で半減させたこと、また同じ期間に温室効果ガス排出量を新工

プロジェクトに取り組んでいるほか、公共建物等への再生可能エネルギー導入やスマート水素ステーションを活用した体験学習などの事業を実施しています。また、「歩くまち・京都」の取組として、四条通歩道拡幅整備や駅のバリアフリー化推進など、人と公共交通優先の歩いて楽しいまちづくりを進める一方、自動運転技術も活用した新たな交通システムについても調査・検討を進めています。



SDGs達成のために多様な技術や知見を活用し貢献することが期待されています。この関西では、関西SDGsプラットフォームを設立し、大学・自治体・企業・市民団体等が我が国のみならず途上国を含めた地球規模の課題解決に向け力を合わせていきます。京都市が市民ぐるみで取り組む持続的なまちづくりはまさに関西発SDGsモデルの代表です。

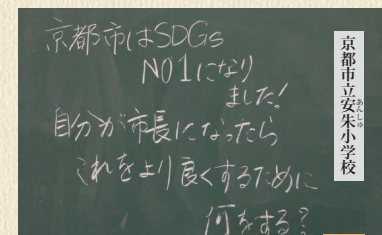
さらに、建物の高さやデザイン規制を強化し、景観を守る取組を推進したことや、市立小中学校の普通教室の空調設置率100%を達成したことなども評価のポイントです。

SDGs先進度1位は京都市民一人ひとりの努力の成果といえます。これを励み、SDGsの17のゴールをめざして、さらにチャレンジしていきます。

一方、社会分野の取組では、公共交通を優先するため、四条通りの歩道の幅を3・5メートルから6・5メートルに広げ、車道を4車線から2車線として評価されました。歩行者が歩きやすくなったことに加え、車道の削減によって2015年の自動車交通量が2006年比で41%減り、観光客のマイカー利用率も80%減るなど、消費エネルギーと温室効果ガス排出量削減にも寄与しました。



木はCO2を吸収してくれるし、動物のすみかをうばうので、森林ばっさいをしないなど、自然もだいじに、というポスターを作ったり、各項目の活動を行うグループをつくる。



一人ひとりが助け合い、人のために自分ができることをしていけるようにする。また、国につなげたり、だれ一人残さないため、他の県にも伝える。



2月24日、安来小学校の子どもたちと地域の方たち70名近くが、京都市東部文化会館でSDGsの劇をしました。みんなで17のピースを集めて、安来のまちを「ブラックアース軍団」から守るというもので、地域をあげて、SDGsに取り組んでいます。

自然エネルギーを利用したいろんな発電を増やし、電気車を走らせる。ごみ収集車は電気自動車にする。そして、ノーマイカーデーをもっと増やします。

京都市立安来小学校(山科区)では、昨年度から、SDGsの17の観点から地域を見つめ直すマップづくりを通して、SDGs学習に取り組んでいます。同小学校の5年生・6年生に、「もしも自分が京都市長になったら何をするか」、一人ひとりの思いを書いてもらいました。

年に一回、環境大会(子ども:植物の世話、大人:ごみ集め)をすればいいと思います。町がきれいになり、自然も守ることができます。

障がい者の人も安心安全に暮らせるため、坂に手すりをつけたり、点字ブロックを増やしたりします。

門川大作 京都市長コメント

SDGs達成のために国連や国、市役所だけでなく、市民の皆さん一人ひとりの取組も大事です。未来を担う次の世代の皆さんが、SDGsに真摯に向き合ってくださっていることを心強く思います。これからは知恵を出し合い、一緒に京都と地球の明るい未来を築いていきましょう!

学校の教科書を、使い終わったら下の学年に回すようにします。その理由は、ごみが減ること、子どもの、ものを大切にすることが育つからです。

各市の会議で相談して、「ごみひろいの日」をつくる。他の都道府県の市長と会議して、他の県のことを教えてもらったり、他の県に教えたりします。

SDGsは世界を守る17の目標だから、SDGsのことをみんなに知ってもらうため、SDGsパークをつくつといいと思います。

加村和美校長先生コメント

環境教育に取り組み始めて2年目

学びの「つながり」と「深まり」を感じる1年でした。SDGsの行動目標をつなげて考えることで、「誰一人取り残さない」自身の行動を具体的に考えて実行するようにしました。SDGsが地域・学校・家庭を「つなげ」、一体となっている手ごたえを感じています。

360°とれるカメラ  
RICOH THETA  
モニター募集!



祇園祭創始1150年を記念して「こんちきじーズ〜祇園祭から考える持続可能性 SDGsその先へ〜」というプロジェクトが始動! そのプロジェクトの一環として、(株)リコー協賛により、360度(つまり上も下も右も左もすべて!)をワンショットで撮影できるコンパクトカメラ[RICOH THETA(リコー シータ)]のモニターを募集します。



このカメラは「誰一人取り残さない」ので「誰一人取り残さない」というSDGsのコンセプトにもぴったり! SDGsカメラとも呼べるでしょう! このカメラを使って、祇園祭や、この先長く残したいと思うシーンを残してみませんか?

詳しくは裏面へ!

・募集の詳細お知らせ  
・こんちきじーズプロジェクトとは?



# Polska COP24のポーランドでは



## ■ポーランド 3都市を訪問

2018年12/3～/9の7日間、COP24開催期間中に、産官学連携メンバーでポーランドのワルシャワ、クラクフ、カトヴィツェの3都市を訪れました。この訪問も、DO YOU KYOTO? 親善大使であるポーランドのカナさん（Katarzyna Michniewskaさん）の協力により実現しました。京都大学 浅利美鈴先生をはじめ、さまざまな環境問題に取り組む企業の方々や京都市の方とともに、現地企業やカトヴィツェ市の方などとも交流を深めることができました。

また、COP24が開催されたカトヴィツェでは、石炭火力発電が今も主流であることもあり、多くの家庭や事業所の煙突から常に黒煙が出ている様子が見受けられたという参加者の声もありました。

## ■ポーランドでのDO YOU KYOTO? キャンペーン

12月5日にはショパンハウスにおいて、日本とポーランドにおける「DO YOU KYOTO? キャンペーン」の成果報告を中心に、交流を深めました。日本側からは京都市の小学校における環境教育や、京都の大学における環境活動の取組などを発表しました。

また、12月6日には、COP24・カトヴィツェのサイドイベントにおいて、DO YOU KYOTO? のマスコットキャラクター「エコちゃんねふた」を披露するほか、町家・打ち水・しまつ心など京都の文化と融合した環境活動や、小中学生が描いた環境ポスター、ポーランド関係者が京都を訪問したときの様子、京都市長のカトヴィツェ市民に向けたメッセージなどを動画を用いて発表しました。

12月7日は、Palace of youthという施設で、カトヴィツェ市内の中学、高校の先生たちの参加するシンポジウムを開催するとともに、京都の安楽小学校・梅小路小学校・京都大原学院の児童生徒が描いたポスター展示も行いました。ポスター展示の際には、見ている人から直接コメントをいただきました。その中には、京都の子どもたちが座学で学ぶだけではなく、自分たちができることを考え、表現していることに感銘を受け、自分の子どもにもポスターを描かせてみたいという声もありました。また、子どもたちがどれほど繊細に環境問題の影響を感じ取っているかわかるという率直な意見もありました。一方、カトヴィツェの子どもたちも、大気汚染に関してしっかりと問題意識を持っているだけでなく、学校によっては改善に向けた行動を促進するイベントを行っているそうです。

京都とポーランドで、直面している環境問題は違っても、豊かな文化や環境があることを共通事項として、ともに環境問題解決に向けて市民レベルで行動していくことが、今まさに必要だと思いました。



小学校ポスター展示の様子



ポーランド関係者に日本のお茶を振る舞いました



COP24 サイドイベントで、DO YOU KYOTO? キャンペーン発表を行いました



日本に送るメッセージカードを市民の方が書いています



京都市の参加者と現地関係者の方々



京都の小中学生が描いたポスター展示会



DO YOU KYOTO? キャンペーンとポスター展示

# Kyoto COP3の京都では



2018年11月下旬にはポーランドからカタジーナさんとともにショパンのピアニストや著名ニュースキャスターたちが京都を訪れ、御所南小学校や京都造形大学でイベントやコンサートを開催して、ポーランドでのCOP24をPRしました。



京都大原学院では京都大学の先生たちの指導を受けて、美術の時間にポスターを描きました



梅小路小学校 5 年生は研究発表会でポスターについて発表しました



京都造形芸術大学内カフェ Verdi ではポスター展とピアノコンサートが開かれました



御所南小学校 4 年生はショパンのピアノ演奏にうっとり

## COP24 特集

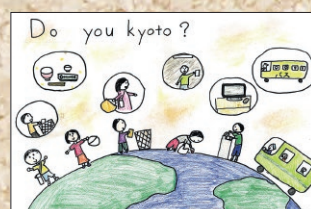
# ポスターがつないだエコのきずな

## DO YOU KYOTO? ポスター 紙上展

京都市立安楽小学校は SDGs 学習の一環として、梅小路小学校は英語と環境学習、京都大原学院では地球温暖化と COP24 を学ぶ環境学習として、ポスターづくりに取り組みました。ポーランドで行ったポスター展を、紙上で再現します。



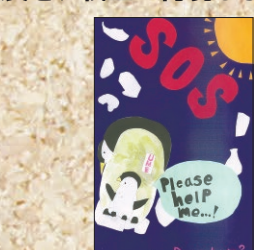
環境 ● 安楽小学校 / 柳生あおい



環境 ● 安楽小学校 / 西谷優海



洪水 ● 大原学院 / 岸下航大



ペンギン ● 紫外線 / 梅小路小学校 / うめちゃんズ



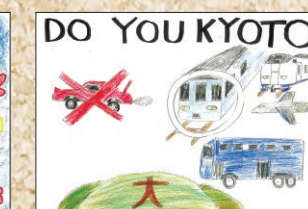
3R ● 梅小路小学校 / チーム3R



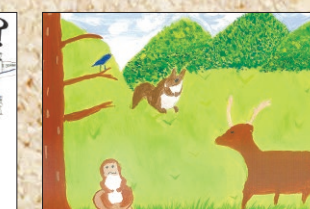
ごみ拾い ● 安楽小学校 / 園村信瑠



電気 ● 安楽小学校 / 渡邊鈎加



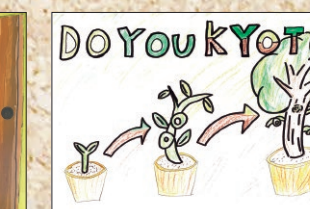
交通 ● 安楽小学校 / 森安梗



蝶 ● 大原学院 / 中内友華



クワガタ ● 大原学院 / 吉田樹



森林 ● 安楽小学校 / 吉田早希



酸性雨 ● 梅小路小学校 / Please help us to save the flowers.



環境 ● 安楽小学校 / 赤井未来



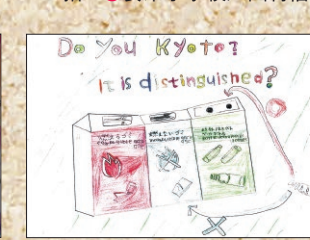
災害倒木 ● 大原学院 / 安井祐一



京野菜 ● 梅小路小学校 / 京野菜ジャー



ポイ捨て ● 梅小路小学校 / Don't wastes.



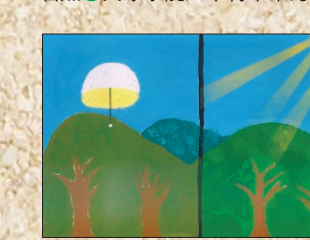
ごみ箱 ● 安楽小学校 / いたみしゅん



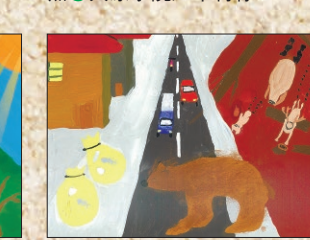
電気 ● 梅小路小学校 / Save energy save the planet.



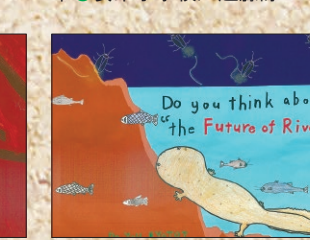
交通 ● 梅小路小学校 / バイココース



自然 ● 大原学院 / 中村未来乃



熊 ● 大原学院 / 中村椋



木 ● 安楽小学校 / 遠藤諒



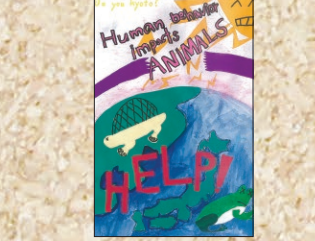
環境のトビラ ● 大原学院 / 和田宇伊菜



環境 ● 安楽小学校 / 八田侑希子



台風 ● 大原学院 / 須野原誠二



紫外線 ● 梅小路小学校 / Human behavior impacts ANIMALS.



リサイクル ● 大原学院 / 西田優輝



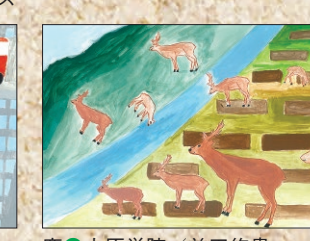
ポイ捨て ● 安楽小学校 / 河野千明



打ち水 ● 大原学院 / 高木麗葉



交通 ● 大原学院 / 青山大晟



鹿 ● 大原学院 / 前田悠貴



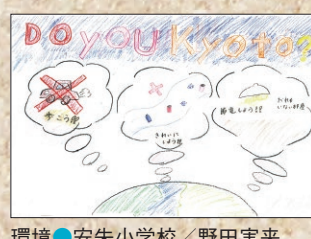
蝶 ● 大原学院 / 中村優斗



森林リス ● 梅小路小学校 / チームフォレスト



歴史 ● 大原学院 / 齊藤香香



環境 ● 安楽小学校 / 野田実来



土砂災害 ● 大原学院 / 中川塔子



雨 ● 大原学院 / 大林慶悟



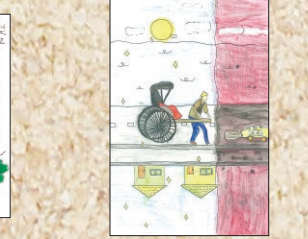
リサイクル ● 大原学院 / 内海希咲



マイバッグ ● 安楽小学校 / 長見ゆい



ごみ ● 安楽小学校 / 小見山はると



人力車 ● 大原学院 / 高谷富士



交通 ● 安楽小学校 / 加瀬歩美



蝶 ● 大原学院 / 辻希実



オオサンショウウオ ● 大原学院 / 本山湖々

## 西川完彦先生（京都大学大学院 地球環境学専攻 准教授）に聞きました



西川先生は、京都で発見される外来種チョウゴクオオサンショウウオとの間の交雑オオサンショウウオの生息状況や生態・行動の調査などを行っています。著書に子どもの成長とオオサンショウウオの一生を描いた絵本「オオサンショウウオみつけたよ」があります。

●この絵は、色使いがきれいで完成度が高いです。ホテルも描いており、オオサンショウウオが夜行性という生態を知っています。陸地からではなく、水中の生き物目線で描いており、この絵を描いた子は目線が生き物に近いと思います。オオサンショウウオが4本指だという両生類の特徴もしっかりとらえていて、とても観察力が高い作品です。また、これは交雑のオオサンショウウオであり、京都水族館でスケッチをしたのかもしれない。●このオオサンショウウオは、川が汚れていてあまり魚がいないところにいる、きれいな川の中で住みたいと夢見ているのではないのでしょうか。この絵からはそんなメッセージが読み取れます。●その他、気になったのは「放蝶会」のポスターです。日本の国蝶であるオオムラサキは、現在個体数が減少しています。オオムラサキの食草であるエノキが減っているからです。この絵には、オオムラサキとともにエノキも描かれている点が評価のポイントです。●全体のポスターについて感心したのは、子どもたちは思ったことをそのままに、でも、ちゃんとした知識をもって描いている点です。京都は人口が多いにもかかわらず自然が豊かで、豊富な湧き水が地域の生活やお店を支えています。京都の神社やお寺も、山があつてこそ。京都は自然と文化が融合しているまちであり、子どもたちには京都で育っていくなかでそういった自然に恵まれていることをしっかり認識してほしいと思います。



# 広がるSDGs学習の輪

## ～京都丹波スマート環境学習～



尾迫 悠

SDGsを活用した地域学習が、2018年10月から12月にかけて、京都丹波地域でも行われました。一般募集で集まった小学生たちが、アイデアを出しあって自分が学びたい環境学習のテーマを決めた後、現地調査やゲーム、意見交換などを行い、SDGs達成のために自分たちができることをまとめていきました。

最後には、そのアイデアが詰まった2019年のカレンダーと、いつまでも使える日めくりカレンダーが完成! そして、すっかりSDGs博士になりました。  
主催: 京都府南丹保健所環境衛生室  
協力: 京都大学ほか



谷口 功真



佐伯 佳乃

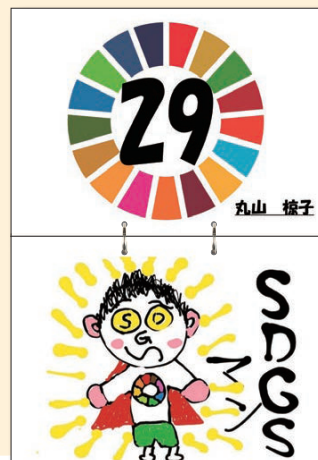
### SDGs 日めくり カレンダー

このカレンダーは、SDGsをテーマに実施した京都丹波スマート環境学習において、参加者が学習成果を発表するために作成した行動目標を、日めくりカレンダーにまとめたものです。



&lt;参考&gt;京都丹波スマート環境学習

| プログラム                 | 概要                                                          |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------|
| 子ども環境会議 (2018.10.4)   | ワークショップ形式で子どもたちの自由な発想やアイデアを引き出し、環境を切り口にSDGsについて学習・意見交換      |
| 第1回プログラム (2018.11.4)  | 雪印メグミルク(株)京都工場、かぶさの里、(株)京都環境保全公社等で企業や人間活動とSDGsとの関わりについて現地調査 |
| 第2回プログラム (2018.11.18) | SDGsカルタを通じて理解を深め、タブレットを用いて意見交換・共有しながら、学習成果をとりまとめ            |
| 第3回プログラム (2018.12.16) | 学習成果を自らの行動宣言として、参加者一人ひとりが発表                                 |

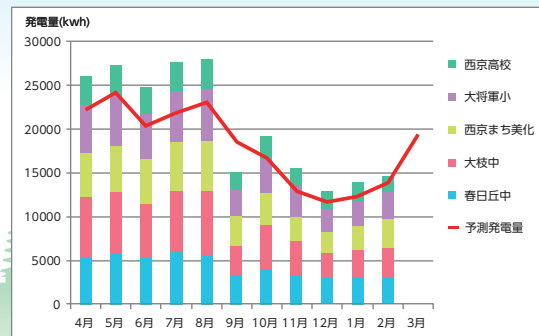


丸山 綾子

## びっくりエコ発電所活動レポート



環境にいいことしていますか?



### 京都市市民協働発電 2018 年度発電実績

京都市市民協働発電の取組として、一般社団法人びっくりエコ発電所では5ヵ所の施設で行っています。予測発電量に対して、9月以外は大きく上回っており、2月段階で年間予測発電量を上回りました。引き続き、施設の発電状況をモニタリングし、事業の安定的な運用をしてまいります。

## 祇園祭創始1150年記念プロジェクト

### こんちききーず

～祇園祭から持続可能性(SDGs)の先へ～


<http://eco.kyoto-u.ac.jp/konchikigis>


## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### あなたの考えるゴールは?

祇園祭から持続可能性(SDGs)について学び、SDGsの視点から祇園祭について考えるプロジェクトをスタートします。  
祇園祭や京都の千年の歴史、未来の千年を考えると、SDGsの17ゴール以外にも、18個目のゴールが見えてくるかもしれません。  
あなたのアイデアをお寄せください! 寄せられたゴールは、国内外においてさまざまな形で発信します。優秀作品は表彰(豪華副賞あり)します。

【対象】どなたでも結構です。【応募方法】①キャッチフレーズ(10～20字程度) ②それを表現した絵③アイデアの説明(100字以内)をハガキやメールでお送りください。  
【締切】2019年9月30日 【申込・問合せ】びっくりエコ新聞事務局(下記参照)

## 360°とれるカメラ RICOH THETA



## モニター募集のお知らせ

【対象】小学生から高校生までの3人以上のグループ(学校のクラスやクラブ、それ以外のグループや仲間、任意団体など)  
【貸与時期】2か月以内(①5・6月、②7・8月、③9・10月のうちいずれかの期間)  
【募集数】①～③につき3グループずつ  
【モニター内容】次の撮影テーマに沿って撮影し、簡単なエピソードを添えて10作品程度を提出していただきます。作品は新聞で掲載し、最優秀グループには本カメラを贈呈します。  
【撮影テーマ】  
[A] 祇園祭(祭自体だけでなく、関連するものであれば何でもよい)および/もしくは[B] これから先も持続してほしいもの  
※応募方法は下に!

supported by



応募については、次の発行事務局までお送りください。

宛先 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学地球環境学 浅利研究室  
びっくり! エコ新聞事務局 Mail: [ecocheck@eprc.kyoto-u.ac.jp](mailto:ecocheck@eprc.kyoto-u.ac.jp)

### <モニター応募方法>

①グループ名(代表者名) ②所属(学校名や団体名) ③住所 ④連絡先電話番号  
⑤できればPCのメールアドレス ⑥「モニター希望」を明記して往復ハガキで上記宛先にお申し込みください。  
【締切】2019年4月25日必着 ※なお、これらの情報は本件に関する連絡以外では用いません